

「でき iPad2。」ユーザーマニュアル Ver2.0 対応

2016.08.11→2020.03.03

お好みの外部スイッチで、iPad・iPhone・iPodTouch を利用したい！その願いのお手伝いのできたらうれしいです。



「できマウス。」プロジェクト
<https://dekimouse.org/wp/>

目次

1. 「でき iPad2。」の概要
2. 「でき iPad2。」仕様
3. 「でき iPad2。」外観
4. 「でき iPad2。」を iPad や iPhone にペアリング(登録)する
5. 「でき iPad2。」を iPad や iPhone から接続を解除する
6. DIP スイッチの設定
7. スイッチコントロールの設定と操作モードの設定
 - 7-1. 事前の設定
 - 7-2. スイッチ4個モードの設定
 - 7-3. スイッチ ON の回数モードの設定
 - 7-4. スイッチ対応アプリモードAの設定
 - 7-5. スイッチ対応アプリモードBの設定
8. マウスポインターを操作する
 - 8-1. マウスポインター操作のため DIP スイッチを設定する
 - 8-2. iOS/iPadOS 側の設定
 - 8-3. マウスポインターを操作する各種モード
 - 8-3-1-1. 回数簡易モード
 - 8-3-1-2. ボタンモード
 - 8-3-2. 回数モード
 - 8-3-3. 長短 On モード
 - 8-3-4. 4 個モード
9. ご利用者自身でスイッチコントロールの ON/OFF をする
10. コントロールセンターの利用
11. macOS を iPad のスイッチコントロールで使う

12. ペアリング4台までの制限をクリアする方法
13. ボタン電池の交換
14. スイッチの抜き差し
15. 「でき iPad2。」でできないこと
16. サポート&問い合わせ
17. 電話サポートを受けたい
18. ご注意とお願い
19. ホームページの Q&A や検索の利用
20. スイッチコントロールのアクションの設定
21. 接続が頻繁に切れる場合

【ご注意】

1. ボタン電池の誤飲にご注意ください。
2. 「でき iPad 2。」をベッドの中に入れないでください。
3. 5VDC の場合良質のケーブルをご利用ください。
5VDC を利用する際は、電池を取り外してください。
4. 端子には、しっかりと奥まで挿入してください。
5. iOS のアップデートは、「でき iPad 2。」がサポートしているかをホームページで確認してから行って下さい。
6. 電池を外す際には、ピンセットなどは使わないでください。
7. 附属電池は試供用です。電池の予備をご用意ください。

1. 「でき iPad2。」の概要

「でき iPad2。」は、お好みの外部スイッチを利用して主に iPad など iOS/iPadOS 製品の操作ができます。
スイッチコントロールを使わないアプリを操作する場合は、スイッチ対応アプリの操作モードもあります。
iOS/iPadOS13 以降のマウスポインター操作も 1 個のスイッチから可能です。

2. 「でき iPad2。」仕様

種別：Bluetooth LE スイッチインターフェイス（電波法の技術適合基準証明取得）

対応：iPad(初期版の iPad や iPad2 非対応)/iPhone(5 未満非対応) /iPodTouch(5 未満非対応) *BLE 非対応のため

寸法：横 47 x 縦 92 x 高 12mm（スイッチ接続部と突起部含む）

重さ：41 g（ボタン電池含む）

電源：ボタン電池（CR2032）や 5VDC（USB-microUSB 変換ケーブルで iOS 製品の AC アダプタや PC の USB 端子などから供給）

省電力と安全対策： DeepSleep モード搭載・ポリスイッチ（再生可能なヒューズ）を搭載

スイッチ：付属いたしません

ファームウェア：バージョンアップ書き換えが可能

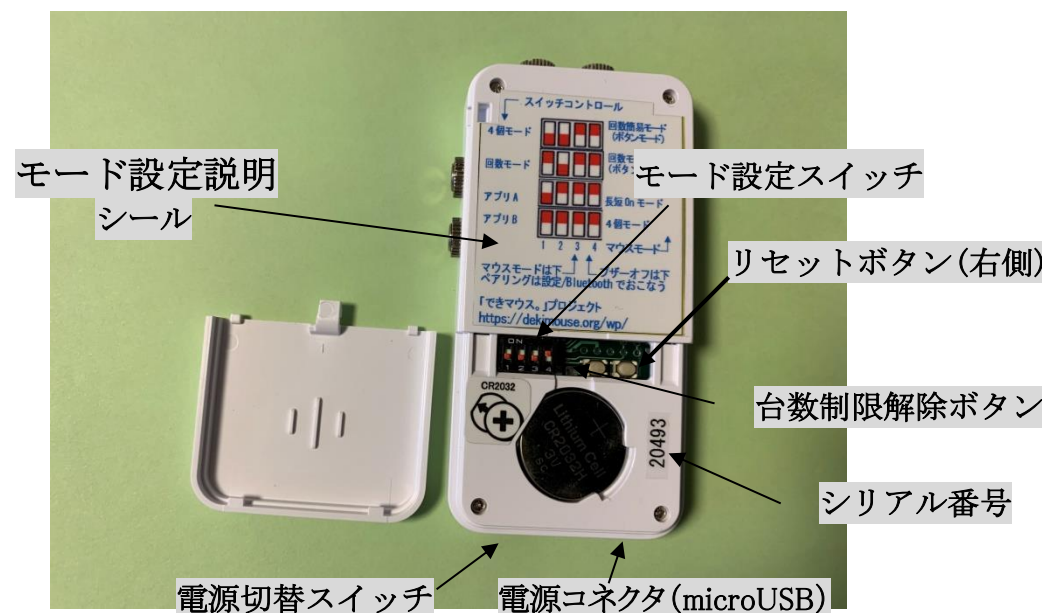
3. 「でき iPad2。」の外観

3-1. 各部の名称



スイッチ接続部の 1 から 4 は本文中の SW1 から SW4 と同じです。

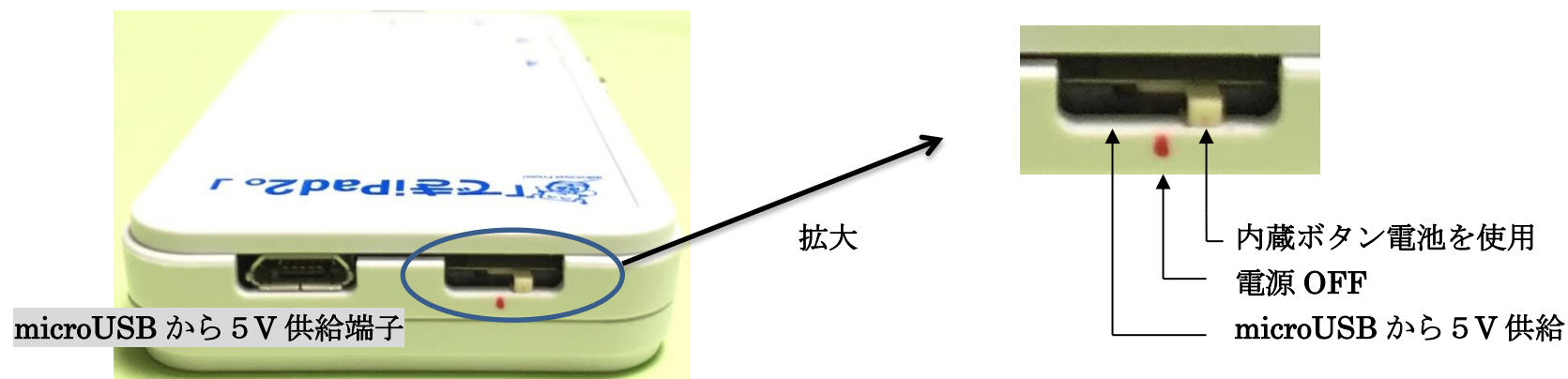
<本体外観>



<設定スイッチと電池ホルダー>

3-2. 電源と切替スイッチ

スライドスイッチで電源の切替と OFF ができます。約 10 分間操作しないと DeepSleep（超低消費電力）になりますので、普段は、スイッチの OFF は不要です。精密スライドスイッチですので、余分な力を加えずに切り替えてください。



5VDC (USB－microUSB 変換ケーブルで iOS 製品の AC アダプタなどから供給します。

電池は、ボタン電池 CR2032 を使います。(AC アダプタをご利用の際はボタン電池を外してください。)

3-3. ステータス LED

前のページの 3-1 項の LED は、「でき iPad 2.」の状態を表します。

LED の表示	状態
緑点滅	ペアリング要求
緑点灯 (赤点灯時は、マウスモード)	ペアリング完了
消灯	電源 OFF か DeepSleep
異常間隔での点滅	電池残量不足

＊注意＊ microUSB端子から 5VDC を入力する場合、電源切替のスライドスイッチを microUSB 端子側にスライドしないと、電池使用のままとなります。AC アダプタはiPadやiPhone附属のアダプタなどと USB: microUSB変換ケーブルをご利用ください。変換ケーブルは良質なケーブルをご利用ください。

iDevice やMac製品から一定距離離れるとペアリング要求となり、LED が点滅します。近づくとまた自動接続されます。

3-4. 拡張コネクタ

別売の「できレバースイッチ 3 S.」を接続しますと、ジョイスティックのように利用できます。

拡張コネクタの Pin 配置を知りたい場合は、ホームページの“問い合わせ”から送信してください。

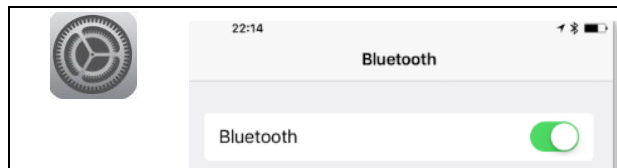
4. 「でき iPad2。」を iPad や iPhone にペアリング（登録）する

ホームページで動画で解説していますのでご覧ください。

ペアリングは、一度行えば OK です。電源を再投入した場合などでは自動的に接続します。

DIP スイッチ 3 が OFF の場合は、ペアリング後に LED は赤点灯しマウスモードとなります。

1. iPad や iPhone の操作1



設定アイコンから Bluetooth と進みます。

Bluetooth がオフの場合は、オン（緑）にします。

アクセシビリティのメニュー内でのペアリングは行わないでください。

2. iPad や iPhone の操作2



「でき iPad2。」の電源を入れます。

LED が点滅して、画面に DekiiPad2 のデバイス名が表示しますのでタップします。DekiiPad2 の文字が表示しない場合は、Bluetooth 画面スイッチを白・緑と操作すると表示します。

LED が点灯の場合は、他の iOS 機器とペアリング済みの状態です。過去にペアリングしたことのある機器のBluetoothを一旦 OFF にしてください。

注意 ペアリングする際に、すでにデバイス欄に DekiiPad2 の文字がある場合は、①を1タップして指示に従って削除します。

3. iPad や iPhone の操作3



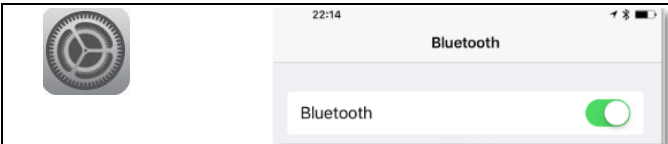
DekiiPad2 の後ろの文字が「でき iPad2。」のバージョンです。

この例では、Ver2.0 シリアル 20003 を表しております。

Bluetooth ペアリングの要求が表示されますので、“ペアリング”をタップします DekiiPad2 のデバイス欄に“接続済み”と①表示表示すれば、ペアリング作業は完了です。

注意 この状態でスイッチコントロールを ON にした場合、“デバイスが見つかりません”が表示される場合は、不完全なペアリングなので、接続済みの隣の①をタップして指示に従って削除します。LEDが点滅しますので、前項からやり直してください。LEDが消灯してしまったときは、電池部のフタを開けてリセットボタンを押してください。

5. 「でき iPad 2。」を iPad や iPhone から接続を解除する

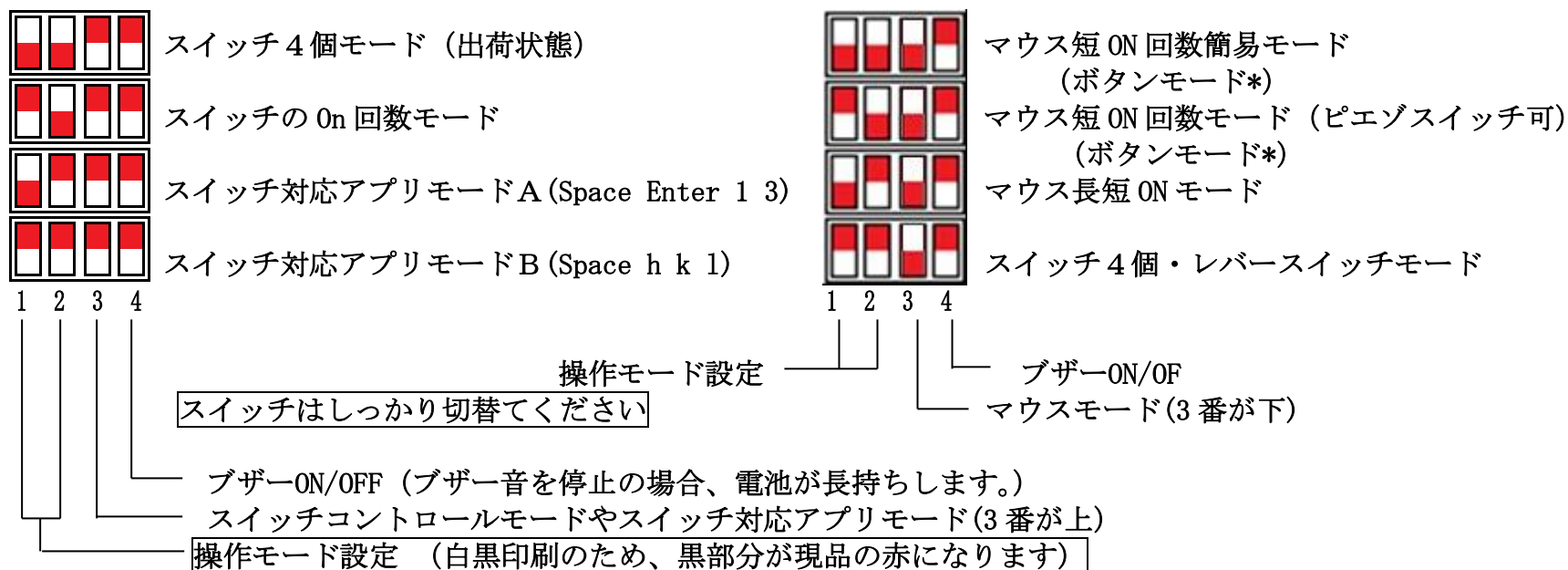
1. iPad や iPhone の操作1 	設定アイコンから Bluetooth と進みます。 Bluetooth がオフの場合は、オン(緑)にします。
2. iPad や iPhone の操作2 	左図の①をタップして、メッセージに従って削除します。

6 .DIP スイッチの設定

DIP スイッチの操作は、いつ行ってもかまいません。即座に機能いたします。電池部のケース蓋をスライドして開けます。

スイッチコントロール利用時 (LED 緑点灯)

マウスポインター操作時 (LED 赤点灯)



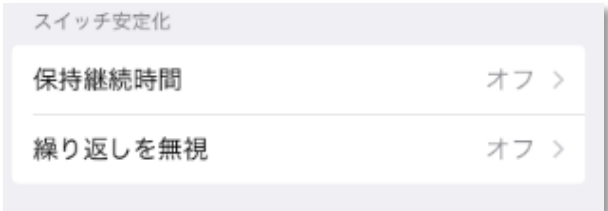
注*) 回数モードで、2 番端子にスイッチを挿入して利用します。ボタン 1 から 8 までアクション割り当てが可能です。

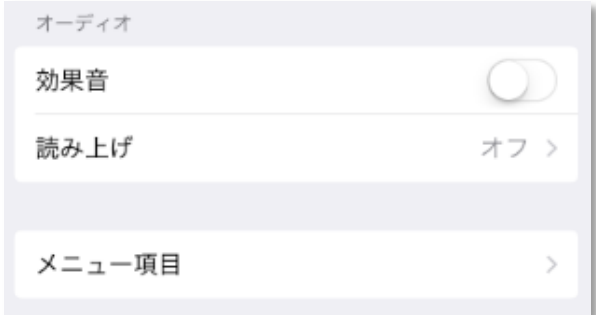
7.スイッチコントロールの設定と操作モードの設定

ペアリングだけでは、スイッチコントロールは利用できません。

アクション設定を行なってください。この場合、スイッチコントロールは OFF で行います。

7-1.事前の設定

設定/アクセシビリティ/スイッチコントロールと進みます	
	ハイライト(スキャン)の種類を選択します。とりあえず自動にしておきます。 自動ハイライトの時間とは、オートスキャンの時間です。タップして時間を合わせます。 最初の項目で一時停止は操作慣れないうちは、0.5 秒程度の設定がお勧めです。 繰り返しは2回がお勧めです。 移動の繰り返しはオフのまま。 長押しは、1個のスイッチを短 On や長 On が可能な場合、2個のスイッチがあるように機能します。この場合の長 On の時間を設定します。ただし、高速入力を行いたい場合は長押しはオフにします。(長押しではスイッチを放した際にアクションが生じます。)
	この項は、とりあえず左図の設定をお勧めします。
	この項は、とりあえず左図の設定をお勧めします。

	グライドカーソルの速度とは、ポイントモードでの操作の際のバーの動作速度を設定します。 とりあえず左図の設定をお勧めします。
	この項は、とりあえず左図の設定をお勧めします。
	たとえばアイコン画面の場合、ON(緑)の場合は、行ごとにスキャンします。
	この項は、とりあえず左図の設定をお勧めします。 大きいカーソルをONにすると、フォーカス枠表示が太くなります。 カーソルの色は5色から選択できます。 保存済みのジェスチャはあらかじめジェスチャーを作成し名前を付けて保存しておく必要があります。
次ページからのモード切替は、ケース底面のスライドカバーを開け、DIP スイッチを操作します。本体裏面に DIP スイッチの説明があります。 マウスポインターに関する説明は、“8.マウスポインターを操作する”に記載。	

7-2. スイッチ4個モードの設定(出荷状態。 macOS のスイッチコントロールでも利用できます。 9. macOS のスイッチコントロールで使うを参照)

スイッチ4個モードで1個のスイッチでの利用

スイッチを「でき iPad2。」の1のジャックに挿入します。
 設定/アクセシビリティ/スイッチコントロール/スイッチとタップします。
 スイッチの項で新しいスイッチを追加/外部と選択します。
 アクティベートしてくださいと表示します。
 スイッチを On して、名前を付けて保存し、アクションを選択します。
 このモードのみ長押しアクションの割り当てが可能です。
 右図の設定したアクションをタップすると、アクションを変更できます。
 事前設定で長押しを設定した場合は、異なるアクションを設定できますが、
 スイッチを放した時の動作になってしまいます(iOS の仕様)。

高速入力される場合は、長押しは
 オフをお勧めいたします。
 SW2 に接続の場合は約3秒間スイッチを長 ON すると、トリプルHOMEが、約5秒間長 ON でiPadを Sleep にし、「でき iPad2。」も Sleep します。
 SW2 に長押し機能を
 割り当てる場合は、
 1.5秒以下をお勧め
 します。



スイッチ4個モードで複数のスイッチでの利用

このモードでは1から4まで、スイッチを4個接続し、異なるアクションを設定できます。
 出力されるキーは SW1: ↓ SW2: ← SW3: ↑ SW4: → のカーソルキーです。

編集を選択すると
 削除できます

7-3. スイッチ ON の回数モードの設定(スイッチの ON の回数で操作・アクションが少々遅れて機能します)

スイッチを「でき iPad2。」の SW1のジャックに挿入します。
 設定/アクセシビリティ/スイッチコントロール/スイッチとタップします。
 スイッチの項で新しいスイッチを追加/外部と選択します。
 アクティベートしてくださいと表示します。
 スイッチを1回 ON して、1-1 と名前を付けて保存し、アクションを選択します。
 同じように、新しいスイッチを追加から始め、2回 ON、3回 ON、4回 ON も設定します。
 出力されるキーは 1回:Space 2回:Enter 3回:1 4回:3です。
 スイッチ ON の回数を5回以上操作できる場合は、下記の機能が利用できます。
 5回 ON:スクリーンキーボードの表示・非表示
 6回 ON:トリプル HOME (iOS10以降)
 9 回 ON:iPad や iPhone を Sleep にして「でき iPad2。」も Sleep になります。



上記の設定は一例です。
 手ぶれがある場合は、1-1と1-2のアクション設定を
 同じにすることも方法のひとつです。
 ハイライトメニューの理解や操作が困難な場合は、
 アクションをタップとすることも一案です。



SW2 にスイッチを接続した場合は音楽を容易に楽しむことができます。 スイッチを1回 ON:再生・停止 2回 ON:次の曲 3回 ON:前の曲 4回 ON:ボリューム下げる 5回 ON:ボリュームを上げる 6回 ON:トリプル HOME(iOS10以降 HOME ボタンのある iDevice) 9回 ON で iPad や iPhone を Sleep にして「でき iPad2。」も Sleep になります。 SW3にスイッチを接続した場合はカメラアプリにおいてシャッター機能となります。	スイッチコントロールのアクション設定は不要です。 SW3 に接続した場合のみ機能します。 カメラアプリ以外では、ボリュームの機能となります。				
7-4.スイッチ対応アプリモードAの設定 Space・Enter・1・3を利用する（スイッチコントロールは OFF で利用）  <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 75%; padding: 5px;"> Space・Enter・1・3 のキーを用いるアプリの操作モードです。 「でき iPad2。」には、スイッチ1からスイッチ4まで接続できます。 出力されるキーは SW1:Space SW2:Enter SW3:1 SW4:3です。 </td><td style="width: 25%; padding: 5px; vertical-align: top;"> SW2 に接続の場合は約3秒間スイッチを長 ON すると、トリプル HOME が、約5秒間長 ON で iPad を Sleep にし、「でき iPad2。」も Sleep します。 </td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> *このモードでスイッチ対応アプリを利用しない場合は、スイッチコントロールでも利用できます。 7-3項のアクションをそのまま利用できます。 スイッチコントロールの長 ON には対応しません。（長 ON をご利用したい場合は、スイッチ4個モードをご利用ください。） </td><td></td></tr> </table>		Space・Enter・1・3 のキーを用いるアプリの操作モードです。 「でき iPad2。」には、スイッチ1からスイッチ4まで接続できます。 出力されるキーは SW1:Space SW2:Enter SW3:1 SW4:3です。	SW2 に接続の場合は約3秒間スイッチを長 ON すると、トリプル HOME が、約5秒間長 ON で iPad を Sleep にし、「でき iPad2。」も Sleep します。	*このモードでスイッチ対応アプリを利用しない場合は、スイッチコントロールでも利用できます。 7-3項のアクションをそのまま利用できます。 スイッチコントロールの長 ON には対応しません。（長 ON をご利用したい場合は、スイッチ4個モードをご利用ください。）	
Space・Enter・1・3 のキーを用いるアプリの操作モードです。 「でき iPad2。」には、スイッチ1からスイッチ4まで接続できます。 出力されるキーは SW1:Space SW2:Enter SW3:1 SW4:3です。	SW2 に接続の場合は約3秒間スイッチを長 ON すると、トリプル HOME が、約5秒間長 ON で iPad を Sleep にし、「でき iPad2。」も Sleep します。				
*このモードでスイッチ対応アプリを利用しない場合は、スイッチコントロールでも利用できます。 7-3項のアクションをそのまま利用できます。 スイッチコントロールの長 ON には対応しません。（長 ON をご利用したい場合は、スイッチ4個モードをご利用ください。）					
7-5. スイッチ対応アプリモードBの設定 Space・h・k・lを利用する（スイッチコントロールは OFF で利用）  <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%; padding: 5px;"> 出力されるキーは SW1:Space SW2:h SW3:k SW4:L です。 トーキングエイド for iPad や DropTalk などの操作ができます。 トーキングエイドの設定で“外部スイッチ”の項を設定してください。 トーキングエイド for iPad の設定でスイッチ A とスイッチ B の項は設定を変更しないでください。 </td><td style="width: 40%; padding: 5px;"> トーキングエイド for iPad は、U-PLUS Corporation 社の製品です。専用のスイッチ BOX があります。 </td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> DropTalk ではスイッチ設定をSpace h k l(エル)に設定してください。 また、スイッチコントロールでも利用できます。その場合は、アクション設定が必要となります。B-1 から B-4 の名前を付けてアクションを設定します。 スイッチコントロールの長押しには対応しません。（長押しをご利用したい場合は、スイッチ4個モードをご利用ください。） </td><td style="padding: 5px;"> SW2 に接続の場合は約3秒間スイッチを長 ON すると、トリプル HOME が、約5秒間長 ON で Pad を Sleep にし、「でき iPad2。」も Sleep します。 </td></tr> </table>		出力されるキーは SW1:Space SW2:h SW3:k SW4:L です。 トーキングエイド for iPad や DropTalk などの操作ができます。 トーキングエイドの設定で“外部スイッチ”の項を設定してください。 トーキングエイド for iPad の設定でスイッチ A とスイッチ B の項は設定を変更しないでください。	トーキングエイド for iPad は、U-PLUS Corporation 社の製品です。専用のスイッチ BOX があります。	DropTalk ではスイッチ設定をSpace h k l(エル)に設定してください。 また、スイッチコントロールでも利用できます。その場合は、アクション設定が必要となります。B-1 から B-4 の名前を付けてアクションを設定します。 スイッチコントロールの長押しには対応しません。（長押しをご利用したい場合は、スイッチ4個モードをご利用ください。）	SW2 に接続の場合は約3秒間スイッチを長 ON すると、トリプル HOME が、約5秒間長 ON で Pad を Sleep にし、「でき iPad2。」も Sleep します。
出力されるキーは SW1:Space SW2:h SW3:k SW4:L です。 トーキングエイド for iPad や DropTalk などの操作ができます。 トーキングエイドの設定で“外部スイッチ”の項を設定してください。 トーキングエイド for iPad の設定でスイッチ A とスイッチ B の項は設定を変更しないでください。	トーキングエイド for iPad は、U-PLUS Corporation 社の製品です。専用のスイッチ BOX があります。				
DropTalk ではスイッチ設定をSpace h k l(エル)に設定してください。 また、スイッチコントロールでも利用できます。その場合は、アクション設定が必要となります。B-1 から B-4 の名前を付けてアクションを設定します。 スイッチコントロールの長押しには対応しません。（長押しをご利用したい場合は、スイッチ4個モードをご利用ください。）	SW2 に接続の場合は約3秒間スイッチを長 ON すると、トリプル HOME が、約5秒間長 ON で Pad を Sleep にし、「でき iPad2。」も Sleep します。				

8. マウスポインターを操作する

8-1. マウスポインター操作のため DIP スイッチを設定する

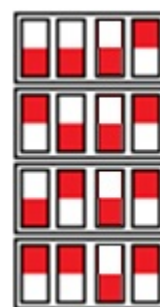
右図のように、DIP スイッチ3番を下にしますと、「でき iPad2。」の LED が赤に変わり、マウスポインター操作モードになります。

マウスポインター操作モードは、4通りあります。

DIP スイッチの操作は、いつ行ってもかまいません。

即座に機能いたします。電池部のケース蓋をスライドして開けます。

[図 8-1]



スイッチ ON 回数簡易モード (ボタンモード)

スイッチ ON 回数モード (ボタンモード)

スイッチ 1 個長短 ON モード (マルチメディアモード)

スイッチ 4 個モード (スイッチまたはレバースイッチ)

1 2 3 4



ブザー ON/OFF (ブザー音停止の場合、電池が長持ち)

マウスモード(3番が下)

操作モード設定

* マウスボタン4から8を利用したい場合は、

iOS/iPadOS 側の設定のため最初だけ ON の回数モードにします。

8-2. iOS/iPadOS 側の設定

8-2-1. 設定/アクセシビリティ/タッチと進み、AssistiveTouch を ON にします。

この設定をすることでマウスポインターが表示されます。

AssistiveTouch を”オン”にできない場合は、

スイッチコントロールを”オフ”にします。

[図 8-2-1]



8-2-2. AssistiveTouch をタップし、下の方に表示のデバイスを選択します。

”メニューを常に表示”はお好みで構いません。

メニューの透明度も設定があります。

スクリーンキーボードを表示させたい場合は、図の

画面スイッチを緑にしてください。

[図 8-2-2]



8-2-3.接続済み装置欄から DekiiPad2 を選択します。

[補足]この画面で「でき iPad2。」のペアリングをおこなわないでください。

iOS/iPadOS のバグで一覧に DekiiPad2 が検出されません。

設定/Bluetooth でペアリング完了して、LED が点灯していれば
接続済みデバイスに Dekiipad2 が表示されます。

[図 8-2-3]



8-2-4.DekiiPad2 がマウスとして認識されボタン1から3までが

表示されます。

ボタン4以降も利用する場合は、追加のボタンのカスタマイズを
選択します。次の 8-2-5 をご覧ください。

***ユーザー定義中は、マウスポインターの移動はできません。**

[図 8-2-4]



8-2-5.ボタン4から8まで認識させましょう。

DIP スイッチ3番が下になっていること。さらに、ON の回数モードに
なっていること。LED が赤点灯していることを確認します。

“追加のボタンをカスタマイズ”を選択すると、ボタンをカスタマイズの
窓が開きます。

「でき iPad2。」の1番に接続したスイッチを4回 ON しますと、
ボタン4の設定ができます。

同様に、5回 ON しますとボタン5の設定ができます。

外部スイッチを8回まで繰り返しますと、右図のようにボタン4から8が
表示されます。

[図 8-2-5]



とりあえず、機能なしを与えます。あとで割り当てができます。
（“操作モード設定の例”の説明書に一例があります。）

8-2-6.マウスポインターの大きさを設定します。

ポインターの形状は丸で、その大きさを設定できます。

ポインターの色も設定できます。

一定時間マウスポインター操作をしないと非表示も可能です。

[図 8-2-6]



8-2-7.必要により、滞留コントロールを設定します。

スイッチの操作をしないで、マウスの左ボタン(決定ボタン)を一定の時間で自動的におこないたい場合に滞留コントロールをONにします。このとき、AssistiveTouch メニューのカスタマイズの案内窓が表示されますが、キャンセルで抜けて構いません。ホットコーナーを利用する際も、滞留コントロールをONにします。

[図 8-2-7]

滞留コントロールをONにする場合は、時間も設定します。



8-2-8.滞留コントロール使う場合は、動きの許容範囲も設定します。

ポインターがこの円の範囲内で移動しても、停止と判定され滞留で設定した時間でアクションが発生します。

[図 8-2-8]



8-2-9.ホットコーナーを利用する

画面の四隅をホットコーナーと称します。

ホットコーナーのアクションを設定します。

「できiPad2。」Ver2 では、ホットコーナーにポインターが素早く移動する機能もあります。

滞留時間が経過すると、“ホットコーナー”で設定したアクションが実行されます。 [図 8-2-9]



8-2-10.AssistiveTouch の画面に戻って、マウスポインターの速さを

中間くらいに設定します。

「できiPad2。」Ver2 には、マウスポインターの移動の速さを変更する機能もありますが、ここでの設定も影響します。

各自が利用しやすい速度に設定します。 [図 8-2-10]



8-3.マウスポインターを操作する各種モード

「でき iPad2。」Ver2 に接続の外部スイッチ1個でマウスポインターの操作ができます。

スイッチ4個モードでは、拡張コネクタに接続するレバースイッチでの操作も可能です。

ここでの機能は、iOS/iPadOS 以外の OS でもマウスとしてのポインター移動や左右のボタン機能は利用可能です。

とりあえず、表の*印の操作で体験されると良いでしょう。(長短 ON と4個モードでは滞留コントロールの併用もありです)、

8-3-1-1.回数簡易モード (スイッチを1番に挿入・2番に挿入でボタンモード機能になります・3番4番も機能あり)

スイッチ ON の回数簡易モード			ピエゾスイッチも利用可能		DIP スイッチ
No.	ON 回数	項目	ポインター移動中	ポインター停止中	
*	01	ポインター移動	90 度方向転換しながらポインター移動します。		
*	02	ポインター停止/左ボタン	停止・低速移動ドラッグ解除	左ボタン（シングルタップ定義推奨）	
*	03	ボタン 2	右ボタン（メニューを開く定義推奨）		滞留コントロールや AssistiveTouch ボタンを使う 場合は、ポインター停止中の 2回や3回 On の機能を任意 に定義可能となります。
	04	ボタン 4	ボタン 4（ユーザー定義可能：HOME 定義推奨）		
	05	ボタン 5	ボタン 5（ユーザー定義可能）		
	06	ボタン 6	ボタン 6（ユーザー定義可能）		
	07	ボタン 7	ボタン 7（ユーザー定義可能）		
	08	ボタン 8	ボタン 8（ユーザー定義可能）		

8-3-1-2.ボタンモード（スイッチを2番に挿入 3番4番も機能あり）



スイッチ ON の回数簡易モード

ピエゾスイッチも利用可能

No.	ON 回数	項目	ポインター移動中	ポインター停止中
01	1	ボタン 1	ボタン 1（ユーザー定義可能）	自作のジェスチャーやショートカットなどの機能を割り当てることが可能となります。 ただし、他のモードで利用の場合は、ボタン1をシングルタップ、ボタン2をメニューに開くに設定必要。
02	2	ボタン 2	ボタン 2（ユーザー定義可能）	
03	3	ボタン 3	ボタン 3（ユーザー定義可能）	
04	4	ボタン 4	ボタン 4（ユーザー定義可能）	
05	5	ボタン 5	ボタン 5（ユーザー定義可能）	
06	6	ボタン 6	ボタン 6（ユーザー定義可能）	
07	7	ボタン 7	ボタン 7（ユーザー定義可能）	
08	8	ボタン 8	ボタン 8（ユーザー定義可能）	

8-3-2.回数モード（スイッチを1番に挿入・2番に挿入で上のボタンモード機能になります・3番4番も機能あり）



スイッチ ON 回数モード

ピエゾスイッチも利用可能

No.	ON 回数	項目	ポインター移動中	ポインター停止中
* 01	1	ポインター移動	90 度方向転換しながらポインター移動します。	
* 02	2	ポインター停止/左ボタン	停止・低速移動ドラッグ解除	左ボタン（シングルタップ定義推奨）
* 03	3	ポインター反対/右ボタン	反対方向に移動	右ボタン（メニューを開く定義推奨）
04	4	HOME/ボタン 4	HOME 機能	ボタン 4（ユーザー定義可能）
05	5	低速移動/ボタン 5	低速移動・ノーマル移動	ボタン 5（ユーザー定義可能）
06	6	キーボード/ボタン 6	キーボード表示 ON・OFF	ボタン 6（ユーザー定義可能）
07	7	ドラッグ/ボタン 7	ドラッグ開始 (ボタン 7 が押したままドラッグ)	ボタン 7（ユーザー定義可能）
08	8	左上端/ボタン 8	マウスポインター画面左上端に移動 滞留 ON+ホットコーナーで機能	ボタン 8（ユーザー定義可能）
09	9	左下隅/機器 Sleep に自分も Sleep に	マウスポインター画面左下端に移動 滞留 ON+ホットコーナーで機能	iDevice を Sleep にし、「でき iPad 2。」も Sleep

*画面隅に移動直後の2回 ON で停止させます。

8-3-3.長短 ON モード（スイッチを1番に挿入 2番3番4番も機能あり）

スイッチ1個長短 ON モード（スイッチの長短で操作 0：短 ON 1：長 ON）（画面隅の利用時には、停止操作をして下さい）

No.	操作	項目	ポインター移動中	ポインター停止中
* 01	0	ポインター移動	90 度方向転換しながらポインターが移動します。	
* 02	00	ポインター移動停止/ボタン 1	停止と低速高速移動ドラッグ解除	左ボタン（シングルタップ定義推奨）
03	01	ポインター低速移動/ボタン 2	低速・ノーマル移動切替	右ボタン（メニューを開く定義推奨）
04	10	ポインター高速移動/ボタン 3	高速移動（0 や 00 や 1 でノーマル）	3 ボタン（ユーザー定義可能）
05	1	ポインター移動停止/アイコン	停止と低速高速移動ドラッグ解除	アイコンのメニュー表示
06	11	ポインター方向転換移動/ドラッグ	反対方向に移動	ドラッグ開始
07	100	左上端/ボタン 4	画面の左上端に移動 (滞留 ON で機能)	ボタン 4 から 8 アクションやカスタムジェスチャー や自作のショートカットをユーザー 自身で機能を定義可能
08	101	右上端/ボタン 5	画面の右上端に移動 (滞留 ON で機能)	
09	110	左下端/ボタン 6	画面の左下端に移動 (滞留 ON で機能)	
10	010	右下端/ボタン 7	画面の右下端に移動 (滞留 ON で機能)	
11	000	キーボード/ボタン 8	キーボード表示 ON・OFF	
12	0000	HOME	HOME	
13	111	DeepSleep	iDevice を Sleep にし、「でき iPad 2。」も Sleep	

◆画面隅に移動直後は2回 ON で停止させます。（停止させないとアクションを繰り返します）

◆2番のスイッチ:スイッチを1回 ON:再生・停止 2回 ON:次の曲 3回 ON:前の曲 4回 ON:ボリューム下げる 5回 ON:ボリュームを上げる
6回 ON:AssistiveTouch メニュー表示 9回 ON で iPad や iPhone を Sleep にして「でき iPad2。」も Sleep になります。

◆3番のスイッチ:マウス左ボタン(ボタン2の定義がシングルクリックの場合視線入力決定機能 miyasuku/HeartyAi)

◆4番のスイッチ:Ctrl キー(視線入力決定機能 Orihime eye)

8-3-4.4 個モード(4 個のスイッチまたはレバースイッチでの操作)

スイッチ1個長短 ON モード（スイッチの長短で操作 0：短 ON 1：長 ON）（画面隅の利用時には、停止操作をして下さい）

No.	操作(SW)	短くレバー倒して放す/ 1回音が鳴るまで倒すと停止	2回音が鳴るまで倒すと 低速 / ノーマル移動切替	斜め方向に倒し、1回音が鳴れば 割り当てた機能
* 01	下（1）	下に移動/停止	下に移動（移動速度切替）	—
* 02	左（2）	左に移動/停止	左に移動（移動速度切替）	—
* 03	上（3）	上に移動/停止	上に移動（移動速度切替）	—

*	04	右（4）	右に移動/停止	右に移動（移動速度切替）	—
	05	左下（1と2）	—		ボタン1（シングルタップ）
	06	右下（1と4）	—		ボタン2（メニューを開く）
	07	左上（2と3）	—		ボタン4（ユーザー定義可能）
	08	右上（3と4）	—		ボタン5（ユーザー定義可能）
短 ON はブザーは鳴らず、長 ON でブザー鳴ります。ポインターが移動しない場合は、音が鳴るまでスイッチ ON かレバースイッチを倒してください。4 個のスイッチで利用する場合は、表の“操作（SW）”の（ ）内が該当のスイッチとなります。 レバースイッチを斜めに ON でボタン機能をします。斜めレバー操作で音が 1 回鳴りましたらレバースイッチを OFF にします。					

8-4. ボタンモードで割り当て可能な項目の例

“8-2-5. ボタン4から8まで認識させましょう。”で

「でき iPad2。」のボタンを1から8まで用意しました。

基本的に、ボタン1はシングルクリック、ボタン2はメニュー表示となりますので、ボタン3からは右図のアクションが定義できます。

カスタムジェスチャーや標準アプリのショートカットで作る各自のオリジナルアクションも割り当てが可能になります。



〔図 8-4〕

9.ご利用者自身でスイッチコントロールの ON/OFF をする(iOS10 以降)

9-1.ショートカットを利用する方法(図 9-1)

ショートカットでスイッチコントロールにのみチェックを入れます。

下記のモードでご利用者自身でスイッチコントロールの ON/OFF が
できます。(必要によってご利用ください)

- スイッチ4個モード:SW2 を約3秒間スイッチを長 ON
- スイッチ回数モード:SW1 を6回 ON
- スイッチアプリモード A:SW2 を約3秒間スイッチを長 ON
- スイッチアプリモード B:SW2 を約3秒間スイッチを長 ON



[図 9-1]

10.コントロールセンターの利用

アクセシビリティのショートカットの表示は、コントロールセンターを利用すると便利です。

10-1.コントロールセンターを表示する(図 10-3)

図 10-1 のように、画面右上から下にスワイプすると表示します。

10-2.コントロールセンターの表示項目をカスタマイズする

デフォルトではアクセシビリティショートカットのアイコンはコントロールセンターに
表示されませんので、設定/コントロールセンター/カスタマイズと進んで図 10-2 の
画面のように設定します。



[図 10-1]



[図 10-2]



[図 10-3]

11. macOS を iPad のスイッチコントロールで使う(iOS10.1 以降で同一 Wifi で接続していること)

11-1. iPad のスイッチコントロールでデバイス/ ほかのデバイスを使用を選択します。

11-2. ハイライトメニューに Mac が表示したら選択し、さらに接続を選択しますと、macOS のスイッチコントロールが起動しそのまま Mac の操作ができます。



[図 11-1]

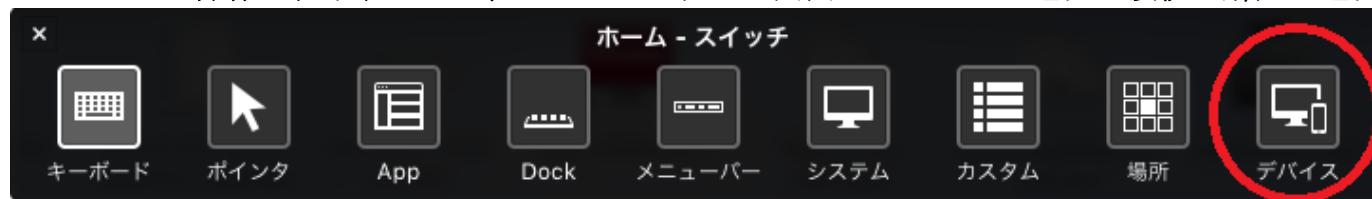


[図 11-2]



[図 11-3]

11-3. Mac のスイッチコントロールの操作を終了するには、ホームスイッチの画面でデバイスを選択し接続を解除を選択します。



[図 11-4]

12. ペアリング 4 台までの制限をクリアする方法

5 台目以降も接続して利用したい場合は、4 台までの制限を解除する必要があります。

電池部のスライドカバーを外します。(13-1 と 13-2 参照)

ブザー音の確認が必要なため、DIP スwitch の 4 番を ON にします。

近くにある iPad などの Bluetooth を OFF にして、「でき iPad2。」の LED を緑点滅状態にします。緑点滅しない場合は、リセットボタンを ON します。

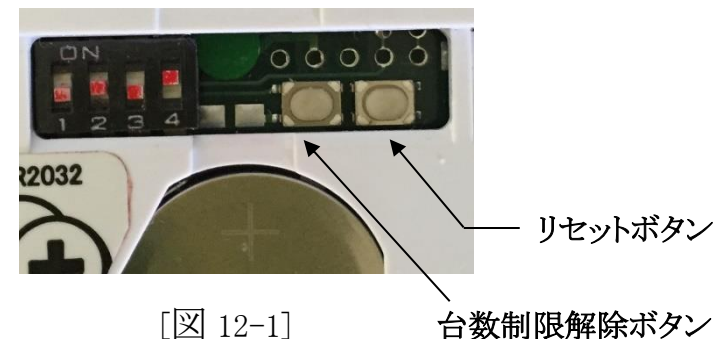
LED 緑点滅状態で台数制限解除ボタン（右図参照）を 1 秒間以上 ON するとピーピッピッと音がなります。

音がピーの連続の際は、右のリセットボタンを ON して、緑点滅を確認してから再度接続制限解除ボタンを ON してください。

ピーピッピッと鳴れば OK です。これで、いままでの接続内容は消去され、あらたに 4 台までの接続ができるようになります。

それまでの 4 台との再接続はできなくなりますので、再ペアリングが必要となります。

その場合は、見かけの(誤った)接続を防止するため、iPad に表示されている DekiiPad2 のデバイスを削除してから再ペアリングしてください。



[図 12-1]

台数制限解除ボタン

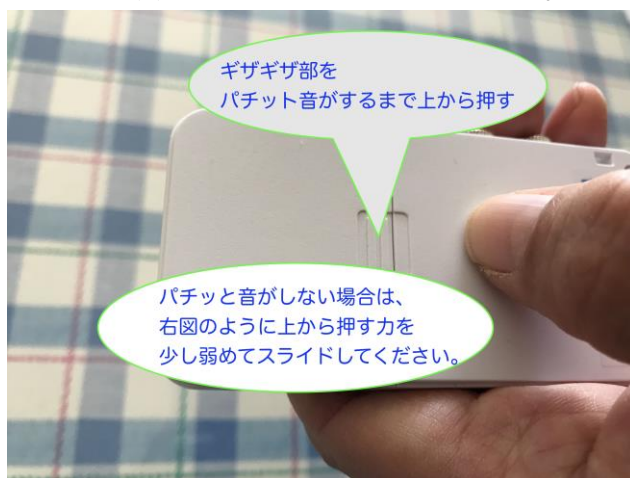
13. ボタン電池の交換

13-1. ボタン電池の残量 （本体には、電池残量検出機能はありません。常に 100%と表示されます。）

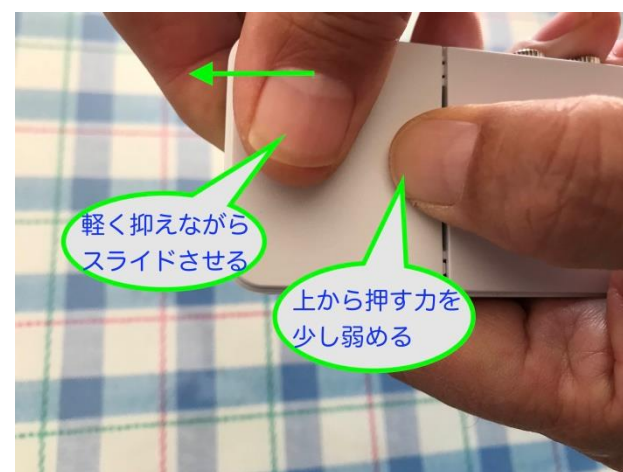
電池残量が少なくなると、再ペアリングの際にブザー音が低くなったり、繰り返し不規則に鳴ったりスイッチの反応が乱れます。その際は、DIP スイッチ4番を OFF にすることによって、電池使用を延ばすことが可能となります。電池を購入してください。ボタン電池以外では、モバイルバッテリーや microUSB 端子からの電源供給をお勧めいたします。

13-2. スライドカバーをはずす

スライドカバーのギザギザ部を上から押しパチッとなったら、押す力を弱めながらスライドさせます。（力を入れながらのスライドは避けてください。台数制限ボタン頭部を損傷する恐れがあります。）



[図 13-1]



[図 13-2]

13-3. ボタン電池の交換 （電池を使わないで AC アダプタを利用する方法もあります）

切り欠きに親指の爪を立てるようにしてずらしてははずします。電池が外れにくい場合は、いったん、電池の中央部を押してからおこなってください。電池を外す際には、ピンセットなどは使わないでください。電池のショート事故につながります。

電池の挿入は、プラスを上面にして入れます。

ボタン電池を長期間使用しない場合や5VDC (microUSB)を利用する場合は、電池を外してください。

14. スイッチの抜き差し

操作スイッチを「でき iPad2。」に抜き差しする場合は、まれに「でき iPad2。」が、誤動作する場合があります。また、しっかり奥に差し込んでください。

15. 「でき iPad 2。」でできないこと

フリーハンドで文字や図を描くこと。

16. サポート＆問い合わせ

ホームページ (<https://dekimouse.org/wp/>) のサポート＆問い合わせをご覧ください。

以下の内容を添えてお問い合わせください。

製品名・OS のバージョン・「でき iPad2。」のシリアル番号・不具合の内容



問い合わせサイト

17. 電話サポートを受けたい

ホームページのサポート予約サイトからお問い合わせください。

https://dekimouse.org/wp/dekiipad_support_yoyaku/

ご希望の日時をメールにて確認後、こちらからお電話いたします。



電話予約サイト

18. ご注意とお願い

18-1. 発熱の危険がありますので、「でき iPad2。」のユニットをベッドの中に入れないでください。

18-2. 乳幼児のいるご家庭では、ボタン電池の誤飲にご注意ください。

18-3. 5VDC で電源供給する際のケーブルは、良質なケーブルをご利用ください。

18-4. 近くで扇風機のような電化製品を ON/OFF すると、「でき iPad2。」は Sleep から復帰することがあります。

18-5. 「でき iPad2。」動画説明のサイトにつきましては、「できマウス。」プロジェクトのサイトをご参照ください。

18-6. OS をアップデート後に、「でき iPad2。」での操作ができない場合は、設定の Bluetooth のデバイス一覧から DekiiPad2 を削除して、再ペアリングを行ってみてください。

18-7. ジャックの丸ナットはスイッチへのストレス防止のため、軽く締めてあります。緩んだ場合は指先で絞めてください。

ジャックの丸ナットは、はずれましても機能には影響はありません。

18-8. 電池を利用しない場合は、電池を外してください。2日以上使用しない場合は、安全のため AC アダプタを外してください。

19. ホームページの Q&A や検索の利用

ホームページには、“Q&A よくあるご質問”や、ホームページ内検索があります。ぜひご利用ください。

20. スイッチコントロールのアクションの設定

スイッチコントロールを利用する際は、OS 側でアクションの設定が必要となります。このマニュアルでも設定の例を示しておりますが、これは、ほんの一例です。うまく利用できない場合は、メールか上記の電話サポートをご利用してください。
なお、アプリによりましては、スイッチコントロールを OFF で利用するものもあります。これらのアプリをスイッチ対応アプリと称しております。

21. 接続が頻繁に切れる場合

Bluetooth 接続のスピーカーが近くにあると”接続切れ”の現象が起きる場合があります。

Apple 社のサイトに解説があります。



Apple 社のサイト

「でき iPad2。」は、4台までペアリング状態を記憶します。iDeviceの A と B とペアリング

した場合、A で「でき iPad2。」を利用している際に、スイッチ操作の無い時間が経過しますと、「でき iPad2。」は Sleep モードになります。接続のスイッチを On されると、「でき iPad2。」は Sleep から目覚めて、ペアリングした記憶の iDevice を探します。このとき、たまたま B のデバイスが近くにあると B と再ペアリングしてしまうこともあり、A でのスイッチ操作ができなくなります。

内容がまだ充実しておりません。みなさんからのご協力を得ながら充実していければと願っております。

このマニュアルは、<https://dekimouse.org/wp/> から PDF でダウンロードできます。

iDevice では、マニュアルを標準アプリのブックで書棚に取り込むことができます。



マニュアルサイト



iBooks で取り込む

「でき iPad2。」が、iDevice 製品を操作する際の入力支援機器として、選択肢の一つに加えていただけたらうれしいです。

トップページ



「できマウス。」プロジェクト
<https://dekimouse.org/wp/>
Tel 049-288-1312
fax 049-288-1323

